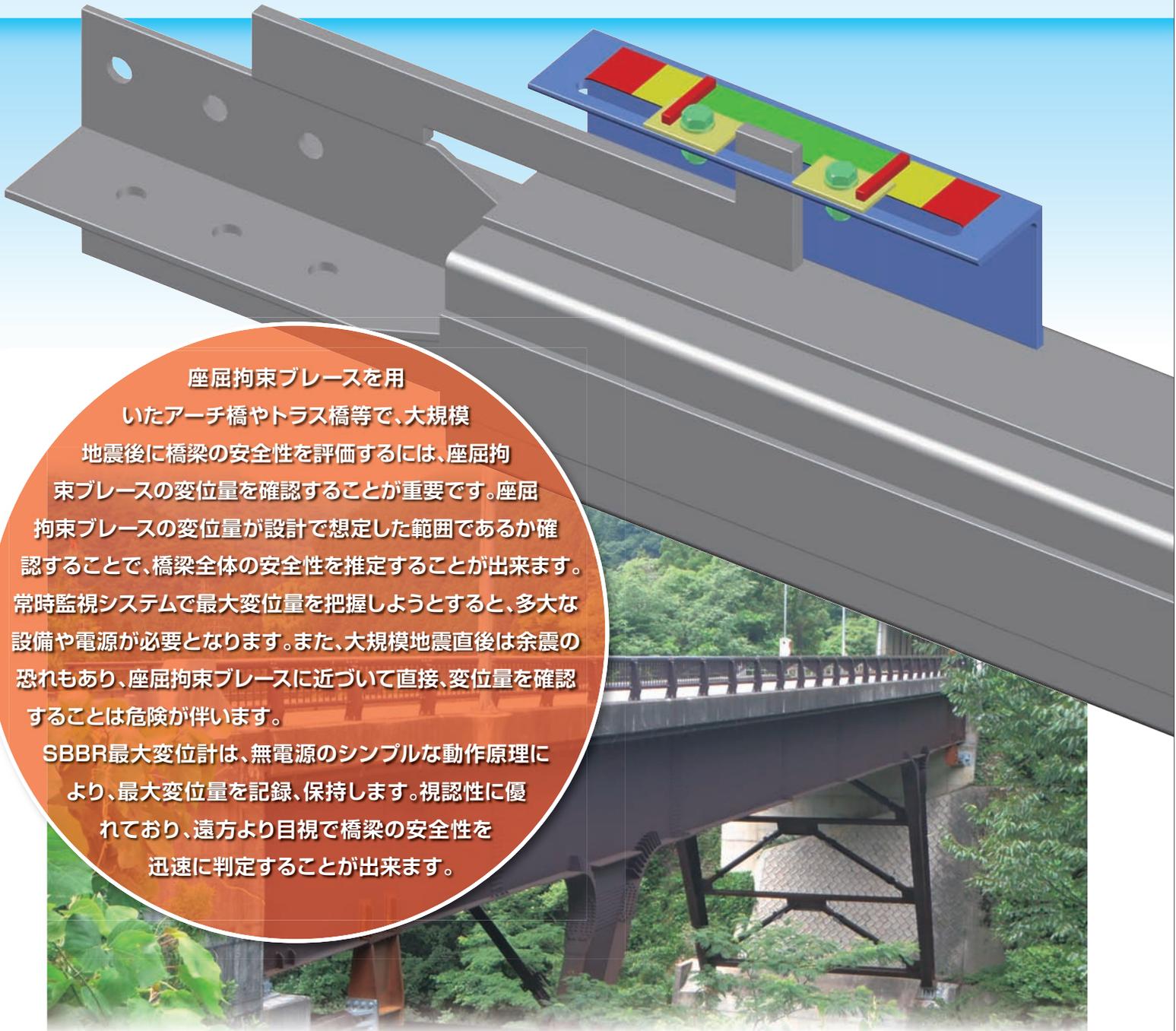


SBBR最大変位計

地震後の緊急輸送路確保に貢献します。



座屈拘束ブレースを用いたアーチ橋やトラス橋等で、大規模地震後に橋梁の安全性を評価するには、座屈拘束ブレースの変位量を確認することが重要です。座屈拘束ブレースの変位量が設計で想定した範囲であるか確認することで、橋梁全体の安全性を推定することが出来ます。常時監視システムで最大変位量を把握しようとすると、多大な設備や電源が必要となります。また、大規模地震直後は余震の恐れもあり、座屈拘束ブレースに近づいて直接、変位量を確認することは危険が伴います。

SBBR最大変位計は、無電源のシンプルな動作原理により、最大変位量を記録、保持します。視認性に優れており、遠方より目視で橋梁の安全性を迅速に判定することが出来ます。

SBBR

5

Merit

- 1 地震後の点検・調査が一瞬で可能です。
- 2 視認性が良いため、余震の恐れがある地震直後でも遠方から安全に目視点検が可能です。
- 3 無電源で動作可能なため、長期計測が必要な土木、建築構造物に最適です。
- 4 地震時に伸縮する軸部材の移動量をおはじきの要領で角ワッシャーに伝達し、最大変位量を記録します。識別しやすい信号機の配色を応用し、緑色が正常範囲、黄色が許容変位、赤色が異常変位で色分けされています。
- 5 角ワッシャーの停止位置により一目で橋梁の安全性の判定が可能です。



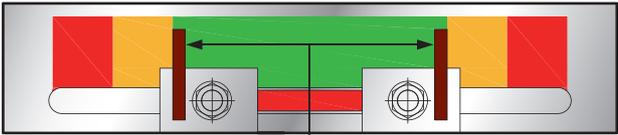
高田機工株式会社

地震後の安全性を迅速に判定可能な「最大変位計」。

橋梁の維持管理に最適です。

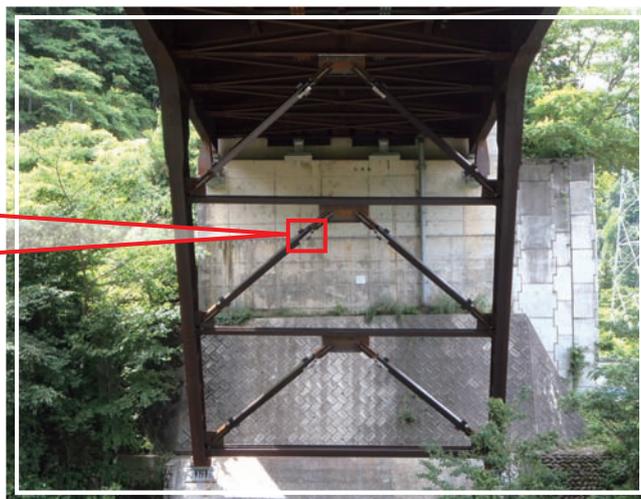
地震時の判定

地震後に変位計の針が停止している位置で判定します。

<p>① 緑色範囲</p>	<p>■正常範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ●座屈拘束ブレースにレベル2地震力は作用していません。 	<p>●初期状態、一般車両の通行可能</p>  <p>計測棒位置は緑色範囲</p>
<p>② 黄色範囲</p>	<p>■許容変位</p> <ul style="list-style-type: none"> ●設計で想定している地震時の許容変位。 ●レベル2地震力が作用していますが、許容変位以内です。 ●詳細点検が必要です。 	<p>●緊急車両の通行可能</p>  <p>計測棒位置は黄色範囲</p> <p>← ブレース伸びる</p>
<p>③ 赤色範囲</p>	<p>■異常変位</p> <ul style="list-style-type: none"> ●設計で想定外の地震時変位です。 ●レベル2地震力が作用し、設計で想定している変位を超過しています。 ●直ちに通行止めとし、緊急点検が必要です。 	<p>●通行止め</p>  <p>計測棒位置は赤色範囲</p> <p>→ ブレース縮む</p>

※通行の判断は参考例です。

適用事例



 高田機工株式会社

〒556-0011 大阪市浪速区難波中2-10-70
 TEL.06-6649-5170 FAX.06-6649-2439
 窓口:技術本部・設計部
 HP <http://www.takadakiko.com>